

LFFUJI-32 ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFFUJI-32

お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email sales@baxida-tech.com

ラベルフィーダー—富士フィーダー 取扱説明書 USER INSTRUCTIONS

★ ラベルフィーダーの主な概念 ★ ラベルフィーダーの外観構造 ★ ラベルフィーダーの通し方 ★ ラベルフィーダーの操作説明 ★ ラベルフィーダーのアフター保証

お客様へ： 当社が開発・製造したラベルフィーダーをご購入いただき、ありがとうございます。本製品の使用方法をできるだけ早く習得していただくため、この取扱説明書を特別に作成いたしました。ここから、当社のラベルフィーダー製品に関する重要な注意事項、外観の詳細、操作説明、保守・メンテナンス方法などを得ることができます。本製品をご使用になる前に、ぜひ最初に注意深くお読みいただくことをお勧めします。それが本製品をより良くご使用いただく助けとなります。当社は、この取扱説明書に記載された情報が正確かつ信頼できるものであることを最大限の努力で確保いたします。もし漏れがありましたら、ご指摘いただければ感謝いたします。本製品は非標準のカスタム品でもあるため、お客様のご要望に応じて製品のハードウェアにいくつかの改良やアップグレードを加えることがあり、その結果、この取扱説明書の内容と実物に差異が生じる場合があります。実物を基準としてください。ただし、これは本製品のご使用に実質的な影響を与えるものではありません。ご了承ください。ご協力ありがとうございます。本製品を正しく使用するため、この取扱説明書を大切に保管し、参照できるようにしてください。本製品は専門の技術者による修理が必要です。問題がある場合は、速やかに当社までご連絡ください。

重要な注意事項

1、フィーダーを直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください； 2、本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があり、電力の大きい電気設備と同じ電源プラグに接続することを避けてください。 3、乾燥した/柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）でフィーダーを拭いてください； 4、不適切な安定性、溶剤、酸アルカリ、水浸または湿気のある環境に接触または暴露することを避けてください； 5、虫食いや鼠噛み、異物の侵入などにより、製品または部品（外壳、LEDスクリーン、インターフェース、電子部品の配線など）が破損、錆び、損傷することを避けてください。 6、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、追加または分解を行わないでください；



輸送及び受領確認

お受け取りになる商品が完全であることを確認するため、商品受け取り時に、運送業者と対面で開梱検収し、製品に輸送損傷や欠品がないことを確認してから署名してください。輸送損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。商品、商品梱包材及び付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社にご連絡ください。受領当日中に需要者が受け取った製品に異議がない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷の責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

ラベルフィーダー外観構造

ラベル取付軸スリーブ 巻線ローラー軸 タッチスクリーン 出料台 廃料回収ロール 押さえカバー引き棒 ラベルロールガイドブロック

(そのうちの1モデルを例として紹介します。モデルにより一部構造が異なります。具体的には実物を基準としてください)

ラベルロールはラベル取付軸スリーブから始まり、巻線軸を通り、止め輪でラベルロールを位置決めし、左右の振れを防止する必要があります；

ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部の止めねじを緩め、ラベルロールの幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動できます）を通し、押さえ板（押さえ板の4本の止めねじを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調整できます）を通します；

押さえカバー引き棒を下に押し、押さえカバーを開き、ラベルロールを押さえカバーと駆動軸の間に挟み、押さえカバーを押してラベルを締め付けます；

最後に、空のロールは廃料テープ回収軸スリーブを通して回収されます。

★注意事項： テープの角度方向はまっすぐに保つ必要があります； 剥離しにくい小さなラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度のより小さい面に換えて使用できます。

ラベルフィーダーのテープ通し方式

ラベルフィーダー光ファイバーセンサー操作説明

一、光ファイバーセンサー外観 ①ラベルが光ファイバー点上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する検出値を生成します。②光ファイバー動作設定値>光ファイバー検出値で且つランプ点灯時、材料ありを検出；光ファイバー動作設定値<光ファイバー検出値、材料なし状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は材料なし状態より200大きくすればよいです。

光ファイバーセンサー 動作設定値 光ファイバー検出値

二、ボタン説明 光ファイバー動作設定値を大きくする。 光ファイバー動作設定値を小さくする。

三、使用説明

ラベルフィーダーディスプレイ操作説明

一、ディスプレイ使用説明 ①動作モード 自動：生産モード；手動：生産停止、材料供給・交換に使用；
②供給位置：供給距離を調整し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調整します。（ラベルが上に反るか送りすぎの場合、供給位置が大きすぎます。ラベルが送り切れない場合、供給位置を増やせます）；
③供給速度：ラベル剥離が完了している状況で、速度を上げるか下げるかに応じて、供給位置を相対的に微調整する必要があります。実装速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供給の安定性を保ちます；
④供給遅延：つまり1つの材料を送った後、しばらくしてから次の材料を送ります。単位は0.1sです（ロボットアームの取り出しが遅く、ラベル送りが速い場合、遅延を設定できます）；
⑤生産数量：ラベルが1列送り出されるごとのカウント、長押し でゼロにリセットして再カウントできます。
：手動モードで、ラベルを1回送ります：手動モードで、ラベルロールが少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に減少します。：手動モードで、ラベルロールが少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に増加します。：パラメータ設定、中国語/英語形式を設定でき、ラベラーとの通信信号を設定できます（信号線の接続が必要）。

アフター保証条例

製品はご購入日から保証期間を計算し、保証期間は1年間です。保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供します。以下の場合、無償修理は提供しません：
一、製品または部品が対応する保証期間を超えている；二、誤ったまたは不適切な使用、保守または保管による故障または損傷、例えば：不適切な運搬；製品の合理的な予想用途に従わない使用；外部接続機器の不適切な抜き差し；落下または不適切な外力による衝撃・圧迫；三、不適切な温度、溶剤、酸アルカリ、水浸または湿気のある環境に接触または暴露；または異物の侵入により製品または部品が破損、錆び、損傷など；四、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、変更、追加または分解によって生じた故障または損傷；五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。保証期間満了後および無償保証条例に含まれない設備についても、ユーザーは当社の修理サービスを受けることができますが、部品代及び修理費用を状況に応じて申し受けます。製品出荷前に、弊社は貴社から提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整します。通常、製品を受け取った後、電源に接続すれば使用できます。操作がわからない場合は、弊社技術者とオンラインでリモート操作指導を行います。部品交換が必要な場合は、製品を物流で返送してください。